

地区の世帯数	157世帯
地区の人口	370人
高齢化率	48.0%
(平成26年12月1日現在)	

美濃地区振興センター・美濃公民館

美濃地町イ140-1

☎29-0031

1月6日は二十四節気の小寒です。寒気次第に強くなる季節の義で「寒の入り」となります。そして1月20日が大寒となり、一年で最も寒さが厳しいころとされています。また、小寒から節分の前日までの約1カ月間を「寒の内」と呼びますが、耐寒のための様々な行事が行われます。寒気を利用した食物（凍り豆腐、寒天、酒、味噌など）を仕込む時期にもあたります。家の中の温度差にも気をつけてこの時季をお過ごしください。

## 新年明けましておめでとうございます。

地区民の皆様におかれましては、お健やかに平成27年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、141年の歴史を誇る美濃小学校の閉校、益田市が進める人口拡大政策の具現化を目指した「美濃地区自治組織設立準備会」の発足、国土交通省による「小さな拠点づくり事業」の採択等、時代の流れを受け新たな一歩、門出の年となりました。今年も長年培った「知恵と力」を結集し、豊かで住みやすい地域を目指して一緒に進めて参りましょう。新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた幸せな1年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

美濃地区振興センター長・美濃公民館長 宮崎 和文

美濃社協から皆様へ

明けましておめでとうございます。

昨年は当社協に対しまして、ご支援、ご協力を賜りまして御礼申し上げます。

本年も、どうぞよろしくお願い致します。

皆様にとって幸多き年となりますように。

「新年」とかけて「玉手箱」と解く。(その心は?)「開けると(明ける)と歳をとる」

同じとるなら、いい1年にしましょう。

美濃地区社会福祉協議会 会長：中島 保

## 交通を考えるワークショップ 11月21日(金) <美濃地区自治組織設立準備会>



国交省「小さな拠点」づくり採択事業の一環として、美濃地区の生活向上を目指すことを目的に「地域の交通を考えてみよう」と題したワークショップが開催されました。地区からは12名の方にご参加いただき、コーディネーターである(株)エブリプランの肥後氏と山田氏を中心に地区内及び病院や買い物等に関する交通に関する困りごとを話し合いました。大きな地図をテーブル上に置いての意見交換会では美濃の抱える問題点を改めて認識することが出来ました。

当日は市役所の人口拡大課の職員や他地域の地域魅力化応援隊もオブザーバーとして参加して下さい、また「トーク&ひるめし」の藤山先生も急遽ご参加頂きました。多くの方が美濃の動きに注目していることが感じられたと同時に、美濃地区の将来を見据えたとても内容の濃いワークショップとなりました。「美濃の地は自らのアイデアと汗で護り、誰にも負けない地域愛を形にして地域を育てていくぞ!」という熱い想いが美濃の将来を築きます。



## 第1回先進地現地調査

11月28日(金)

＜美濃地区自治組設立準備会＞



公民館や市役所等、行政の関与を一切受けず、地域活性化の母体となる自主運営組織を設立するために立ち上げられた準備会が先進地視察を行いました。 邑智郡邑南町の出羽(いずわ)自治会では地区の空き家を所有者に代わって改修、解体、そして参加者には



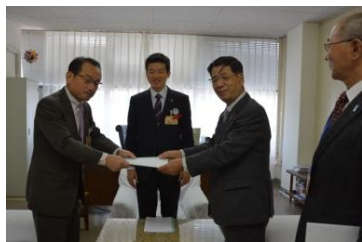
自治会が実証実験している地域通貨「カップ」で支払いをするなど、ユニークな取り組みを行っています。 これは20年後を見据えた自主的な活動で、その内容もさることながら、地区住民の自主運営意識の高さや地域存続の危機感の共有化を見習う必要があると感じました。

## 届け！美濃の声！！

12月1日(月)

＜美濃地区学校再編対策協議会＞

「美濃衆(みのんしゅう)の熱き想いを行政に！」



より良い美濃地区を再建しようと、学校跡地の利用や新施設の建築等、三浦連合自治会長により要望書が山本市長に届けられました。 過疎地、限界集落などなどの不名誉な冠のつく美濃地区ですが、私達の故郷を守るためにも、これからも根気よく私達の心の声を行政に伝えていきましょう。 要求と欲求は似て非なるものです。 要求とは自らは何もせず、「〇〇してほしい」という、他人任せにする思いの事です。 そして、欲求は自らの内側からフツフツと湧いてくるような「私は〇〇したい」という熱い感情です。 要求は自己中心的なものです。 欲求には主体性があります。 要求は通らないと愚痴や批判が出てきますが、欲求はそれを具現化するための努力を惜しみません。 **あなたは美濃をどうしたいですか？**

## 第3回 ふれあい給食会

12月12日(金)

＜美濃地区社会福祉協議会＞



本年度3回目を迎える「ふれあい給食会」、今回は「わかくさ保育園」の園児さんをお迎えしました。 当日はあいにくの冷たい雨となりましたが、寒さすら気にならないほど、楽しい時間を過ごすことが出来ました。 可愛い園児さん達のお遊戯は師走の慌ただしさを忘れさせてくれるもので、また食改さん



が心を込めて作ってくださったお弁当はお腹と心を満たしてくださいました。 次回も素敵な笑顔をお見せください。



## 「市長と語りあう会」のお知らせ

＜秘書広報課＞

皆さんが抱えている課題や市に対する要望について、市長と直接意見交換をし、より良い解決策や振興策を考える「市長と語りあう会」が1月27日に美濃地区振興センターで開催されます。 私達の声を直接、山本 浩章 市長に届けることのできる数少ない機会でもあります。 何かとご多忙とは存じますが、私達の熱い思いを市長に届けるために一人でも多くの方の参加をお願いします。



記

開催日時：平成27年1月27日(火)午後7時より

開催場所：美濃地区振興センター(美濃公民館)

※：他地区の方もご参加いただけます。



謹んでお悔やみ申し上げます。

本郷上 中尾 正 様 (12/20) 享年84歳



## 美濃ルミナリエ

<ほんぼりの会>

恒例になりつつあるイルミネーションが師走の美濃の郷に燈（とも）されました。ルミナリエの語源はイタリア語で提灯やランタンを意味する「luminaria」の複数形「luminarie」であり、今では小電球などによる光の装飾（イルミネーション）の事を言います。昨年までは「みのナリエ」とも呼ばれていたようですが、本年度は美濃地区自治組織準備会も設立されたので、これを機に「美濃ルミナリエ」として定着することが出来れば素晴らしいですね。神戸ルミナリエは阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂の意を込めるとともに、都市の復興・再生への夢と希望を託し毎年続けられていますが、美濃ルミナリエは年末年始に帰省される美濃衆（みのんしゅう）に故郷の温かみを少しでも感じていただきたいとの思いから始められました。小さな灯りが小さな思いを生み、そして大きな想いになり、地域の将来を明るく照らします。美濃ルミナリエに込められた想いは写真ではお伝え出来ませんので、是非、直接ご覧になってください。故郷に帰省する子供や孫たちの笑顔が見たいとの思いで飾られたイルミネーションは真冬の夜空にほんのりとした温かさを運んでくれています。

## 雪による倒竹、倒木に関するお願い

<美濃公民館・土木課維持管理室>



降雪並びに積雪による倒竹が道路を塞いだり、倒木により道路使用に影響が出た場合、また、そのような場所を発見されましたら公民館（☎29-0031）にお知らせください。なお、夜間、休日及び緊急性があると判断されましたら市役所の土木課維持管理室（☎31-0366）まで直接ご連絡ください。



## 新しく成人となる君たちへ

1994年（平成6年）4月2日～1995年（平成7年）4月1日生まれの方が本年度、成人として羽ばたかれます。美濃地区では尾木千尋さん（有田上）と益成翔大さん（本郷下）の2名が対象となります。二十歳、大人の仲間入りと騒いでいるのは君たちの周りの大人と、大人とは何かを考えたこともない、無駄に20年を生きてきた一部の未成熟な馬鹿者達だけです。確かに二十歳になれば選挙権、飲酒、喫煙、ローンの締結など、今までとは違う権利が与えられます。でも、それだけが大人ではないような気がします。本当の答えは君たちの心の中にしかありません。そして、大人と呼ばれている私達ですが、私達にもその答えは分かりません。でも、美濃の「大人」は君たちと一緒に考えていくための努力は惜しみません。一緒に大人探しをしましょう。

## 三浦 満 氏に 神社本廳「秋の敬神功労章」が授与されました

有田恵美須神社責任役員（総代表）の三浦 満 氏がこの度、永年に亘る神社崇敬に対しての功労が認められ、神社本廳（ほんちょう）より「敬神功労章」が授与されました。敬神功労賞は、神宮・神社の役員、総代及びその他の氏子崇敬者の中で、とくに功績顕著な者に対して「神社本廳統理」から授与されるもので、三浦氏は七宝章と呼ばれる有功章を受章されました。今年の敬神功労章の受章者は全国で26名です。受賞者は日本全国どこの神社であっても正式参拝者として位置づけられ、受章者が参拝の際には、神社側は、大慌てで準備に取り掛からなければならないほど権威のあるものです。なお、三浦氏は島根県神社庁益田支部総代理事も兼務されております。



## 誌面調整のための「四方山話」です

<ハツラツ通信編集部>

すでにお気づきでしょうが、今月号より誌面構成を変更いたしました。そのため月によっては誌面調整が必要となることがあります。その際、無意味な「四方山話」を挿入させていただきます。

初回の無意味ですが、何となく笑えます。

止まれと言われたら止まるし、  
すすめと言われたら「すすめ」だし。





# 暦こらむ

「聖人」とは「日知り人」のことで、日を知るとはその日がどのような意味合いを持った1日かを知ることです。旧暦は「生活暦」「農耕暦」などと呼ばれるほど生活に密着した暦です。旧暦を知ればあなたも聖人の仲間入りです。

## = 第8回【半か？丁か？の六曜】 =

暦には様々な注書が記入してあります。それを暦注と言います。二十四節気、七十二候、雑節、干支、七曜星、六曜星などが暦注です。明治五年の暦法改正により、吉凶を占うような暦注は人心を惑わすとして記載が一切禁止され、それまで生活に潤いを与えていた暦が平面的なカレンダーとなり、暦（カレンダー）の需要が落ち込んだそうです。それを危惧したカレンダー業界(?)は、明治以前には最も単純で人気のなかった暦注の六曜（六曜星）に注目したのです。六曜とは大安、赤口、先勝、友引、先負、仏滅のアレです。使われている文字から仏教を源とするように思いますが、**仏教とは一切関係がありません。**むしろ、その内容が勝負事に関する内容が多く、元々は賭場の遊び人や勝負師などの間で縁起担ぎとして用いられていたものです。また、その名称や解釈、順番も少しずつ変えられ、現在では「赤口」以外はすべて名称が変わっています。つまり、他の暦注に比べ占いの要素がないため明治10年頃から暦（カレンダー）に記載されたのが現在に至っているだけなのです。そしてその順序ですが、とても簡単な計算で求めることができるため、暦法改正以前にはあまりにも単純過ぎて、暦注として取り上げられることすらなかったのです。

新 暦	旧 暦	月	行 事 等
1月 1日	十一月十一日		元旦（新暦）
5日	十一月十五日	満月	
6日	十一月十六日		小寒 【二十四節気】
13日	十一月廿三日	下弦	
20日	十二月 一日	新月	旧暦 師走（十二月）朔（一日） 大寒 【二十四節気】
27日	十二月 八日	上弦	

旧暦の月をM、旧暦の日をDとして、簡単な足し算と割り算をするだけで六曜がわかります。 $(M+D) \div 6 = A$  余り N の計算式を当てはめ、その余り「N」で六曜が決まります。「N」が零(0)の日が大安、1が赤口、2が先勝、3が友引、4が先負、5が仏滅です。例えば中秋の名月は八月一五日ですが、 $(8+15) \div 6 = 3$ 、余り5となります。つまり「中秋の名月」は必ず「仏滅」になります。名月だから博打をしようとする人はいても、仏滅だから中秋の名月を愛でないという人はいないと思います。今でこそ暦注と言え六曜というほど有り難がられていますが、旧暦時代には誰でも日付だけで簡単にわかる曜日のようなものでしたから、神秘性もなく人々は見向きもしなかったようです。現在、六曜が有り難がられる理由は六曜の計算のもとになる旧暦の日付がすぐに分からないため、神秘的な法則に従った気がするからです。とにかく、大安だ、仏滅だと一喜一憂するほどのものではないようです。ちなみにお釈迦様は占いを禁じておられますし、仏滅は元々、空亡(くうぼう)と呼ばれ、ブツメツと呼ばれるようになってからは物滅の文字があてられていたようです。博打に使われた言葉だと考えると何となくわかりますよね。仏滅でも博打に勝った人が、「今日は大安吉日だあ！」と大騒ぎしている姿が浮かんでくるのは私だけでしょうか?? (笑)

※このコラムでは太陰太陽暦（旧暦）を漢数字、太陽暦（新暦）を数字で記載しています。次回は「干支と恵方巻」を予定しています。

### 【1月】 これからの地区内行事予定

2日 (金)	益田市成人式	13:00 ~ 15:00	【グラントワ】
5日 (月)	地区振興センター・公民館 仕事始め		【美濃公民館】
6日 (火)	巡回診療日 (神埼内科)	13:30 ~	【美濃診療所】
8日 (木)	巡回診療日 (村野医院)	13:30 ~	【美濃診療所】
11日 (日)	益田市消防出初式/地区消防祝賀会	12:30 ~	【美濃公民館】
15日 (木)	巡回診療日 (林医院)	12:30 ~	【美濃診療所】
17日 (土)	どんど焼き	10:00 ~ 11:30	【旧美濃小校庭】
19日 (月)	これからの自治組織の仕組み (説明会)	19:00 ~ 20:30	【美濃公民館】
20日 (火)	巡回診療日 (神埼内科)	13:30 ~	【美濃診療所】
22日 (木)	巡回診療日 (なかしまクリニック)	13:30 ~	【美濃診療所】
27日 (火)	市長と語りあう会	19:00 ~	【美濃公民館】
29日 (木)	巡回診療日 (すみかわクリニック)	13:30 ~	【美濃診療所】

※行事の詳細はその都度ご案内いたします。日程は変更される場合もあります。